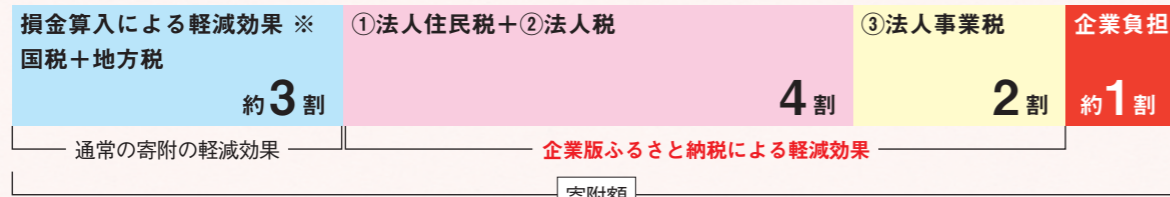


寄附控除割合のイメージ

通常の損金算入による軽減効果（約3割）と合わせて、最大で寄附額の約9割が軽減されます。
 実質的な企業様の負担が約1割に圧縮され、使いやすい仕組みとなりました。

税の軽減効果が**3倍！最大約9割に！**



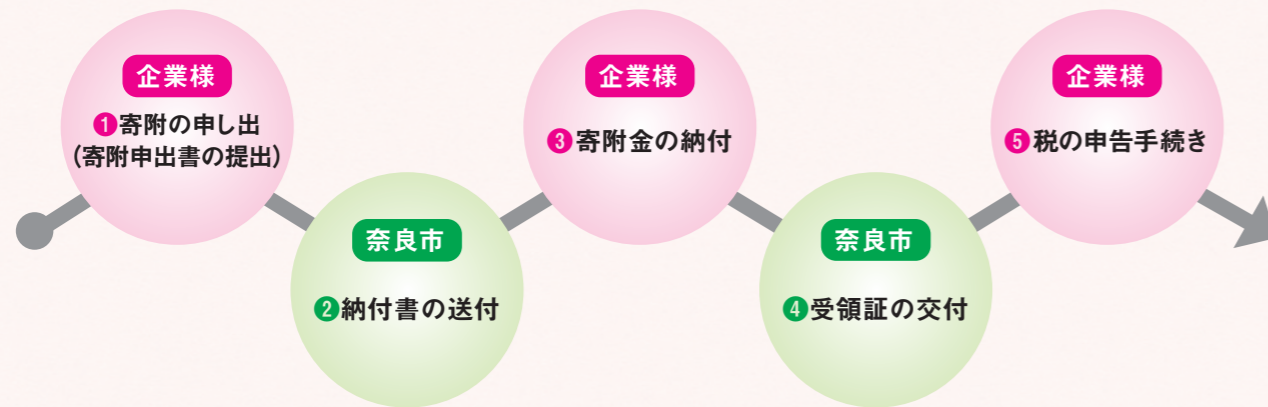
※企業が地方公共団体に寄附した場合は、その金額が損金参入されるため、寄附額の約3割（法人実行税率）相当額の税の軽減効果があります

税目ごとの 特例措置	①法人住民税	②法人税	③法人事業税
	寄附額の4割を税額控除。（法人住民税法人税割額の20%が上限）	法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。（法人税額の5%が上限）	寄附額の2割を税額控除。（法人事業税額の20%が上限）

留意事項

- ◎1回あたり10万円以上の寄附が対象となります。
- ◎寄附を行うことの代償として、経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- ◎本社が所在する地方公共団体への寄附については、本制度の対象となりません。
 （奈良市内に本社が所在する企業の場合、奈良市に対する寄附は、本制度の対象外）

企業版ふるさと納税 – 寄附の流れ



寄附金のご入金を確認後、受領証を交付します。

受領証は、寄附控除の申告を行う際に必要となりますので、大切に保管してください。
 なお、寄附対象事業の完了後に、事業費確定通知書を送付します。

お問い合わせ・お申し込み先

奈良市役所 総合政策部 総合政策課
 〒630-8580 奈良県奈良市二条大路南一丁目1-1
 TEL: 0742-34-4786 E-Mail: sougouseisaku@city.nara.lg.jp



奈良県奈良市

令和3年度 企業版ふるさと納税



月ヶ瀬梅溪 – 春



なら燈花会 – 夏



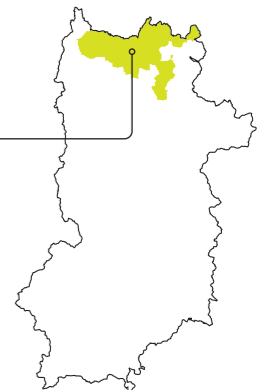
浮見堂 – 秋



平城宮跡 – 冬

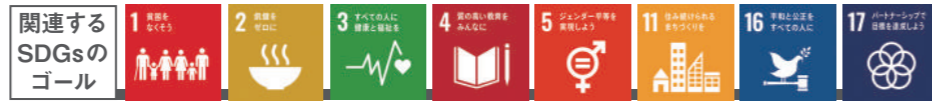
奈良市 nara-city 人口: 352,974人 面積: 276.94 km²

世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとする観光資源を多く擁する国際文化観光都市であることに加え、東部地域など緑豊かな自然環境にも恵まれており、隣接する大阪や京都のベッドタウンとしても発展してきました。本市では、人口減少や少子化を克服し、活気ある奈良市を持続させることを目指して積極的に取組を推進しています。



企業版ふるさと納税とは？

寄附対象事業



もしなら子どもプロジェクト (子どもセンター周辺一体整備事業)

企業が得られるメリット

奈良市との関係づくりに！
社会貢献でイメージアップ！
会社の力で地方を盛り上げ！



1990年から30年間連続で更新している数があります。それは、全国の児童相談所で児童虐待として対応した件数。2020年度は初めて20万件を超え、全国的に早期の対応が求められています。本市の担当課での対応件数も、ここ10年間で約3倍に増加しています。

本市では、2022年4月に、中核市として4例目となる児童相談所の設置を目指し、「奈良市子どもセンター」の整備を進めています。子どもを守るだけでなく、専門職に子育て相談ができる機能や、親子のふれあいを育む魅力的な遊びスポット等、総合的な子育て支援が行える施設をオープンします。子どもたちの笑顔を、企業のみならずの力で一緒に増やしてみませんか。



国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して、企業様が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除される仕組みです。実質的な企業様の負担は約1割で、奈良市のプロジェクトの応援ができます（具体的な控除の仕組みは裏面）。

Interview...

担当職員が語る。 子どもセンターの開設で切り拓く未来

児童相談所設置推進課 担当職員 坂本 美由紀 鈴木 萌



両名とも入庁6年目。現在、センター設置後の児童相談所運営計画の立案等を担当。これまでに、奈良県や三重県、他市の児童相談所で業務に携わり、子育て中の保護者の相談や家庭訪問にも出向く等、子育て家庭へのさまざまなサポートを行ってきた。

■センターができて可能になる未来

日頃、子育て中の方と話していると、悩みがあっても周りの誰にも相談ができず、行き詰まってしまうというお話をよく耳にします。子どもにキツク当たったり、些細なこともできなくなったりと、自分を責めてしまう方も。その孤立感を解消し、「どんな状況でも私たちは関わり続ける！」と

いう思いで、相談や訪問をしています。

今後は、子どもの命や安全を守るための判断をより踏み込んで行えるというだけではなく、より専門的な知識・技術を持った相談員の配置や、連携できる機関の拡充により、親子が周りや繋がる糸口を見出す可能性が広がります。

■奈良市の目指すセンターの姿

児童相談所というと、専門的な相談や児童虐待の解消等、気軽に相談しにくいイメージがどうしても付いて回り、子育て中の人でも自分には関係無いと感じられてしまいます。

今、奈良市が目指しているのは、通常の児童相談所の機能は保ちつつ、あらゆる

子育てニーズに対応できるように支援のメニューを増やし、予防の面から大変な局面まで、一元的にサポートができる施設です。センターを身近に感じてもらい、子育て家庭が集って一緒に遊び、困った時には拠り所になる場所をつくろうとしています。

■企業の皆様へ

児童相談所が関わりながら自立を目指す子どもたちは、今後の進学や就職時等、サポートが必要な局面を多く抱えています。子どもセンターを中心に、企業のみならず地域とも繋がりがながら、子どもの未来を切り拓いていくため、ぜひお力を貸していただけませんか。

子どもセンターに備える5つの機能

■児童相談所・一時保護所

専門職が行う診断をもとに、相談や援助を行います。様々な理由によって家庭で暮らせなくなった子どもの安全を確保し、施設や里親への養育につなげます。

■子ども発達センター

就学前の子どもの発達に関する相談ができます。療育が必要な子どもに対する指導や訓練を実施します。

■子ども家庭総合支援拠点

身近な相談窓口として、気軽に子育て相談ができます。「こんにちは赤ちゃん訪問」や助産制度、ショートステイ事業等により、様々な子育てニーズに対応します。

■地域子育て支援センター

親子の遊びや交流の場。子育てに関する相談窓口になるとともに、様々な育児情報を提供します。

その他周辺施設の整備

■公園のリニューアル設計 ■防球ネットの設置

センターに隣接する柏木公園。球技場・テニスコートも併せ持つこの公園をセンターと一体で整備します。

■キッズスペース

全身を思い切り動かして遊べる全天候型の屋内遊び場と、自然を感じながら遊べるインクルーシブな屋外広場を子どもたちに提供します。

イメージパース
屋外広場▶
屋内遊び場▼

